

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 (3669) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

2003 年 9 月 8 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

<http://www.hikarikeizai.co.jp>

前回は、右肩上がりの上昇トレンドが続いている時は、調整に転じても、26日前の株価を下回らずに反発することが多いとご説明しました。(9月1日号のレポート参照)

つまり、26日前の株価を下回るようなら、右肩上がりの上昇トレンドにひびが入りつつあるということになります。

7242 カヤバ工業のチャートをご覧ください。A点の株価は遅行スパン(遅行線)のA'点に記入されています。その位置にある日々線(日足)と比較して下さい。これまでは日々線(日足)と、その位置にある遅行スパンを比較すると、絶えず遅行スパンの方が上に位置していました。しかし、このA'点(A点)では逆転しています。(遅行スパンと日足が重なる)つまり、26日前の株価を下回ったことになる。

その直後に本格的な調整に入ったわけです……。

このように、26日前の株価を下回るか否かが、その後の株価に大きく影響することになります。次回に続きます。

この件に関するお問い合わせは 03-3669-5022 入会ご希望の方は dekioka@hikarikeizai.co.jp

毎日更新、旬な銘柄を選んで分かりやすく解説する、無料テレホンサービスの「人気株情報」 03-3669-5552 で放送中、是非お聞きください。

《カヤバ工業》日足



Alpha Chart 社製

このレポートは投資の判断となる情報の提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。